

事務事業評価資料

施策名	豊かな心を育む教育の推進		所管部局課名	教育委員会事務局義務教育課					
事業名	地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」推進事業	担当者電話番号	中学校教育係 078-362-3773						
事業目的	地域社会を学びの場とし、生徒の主体性を尊重した様々な体験活動を通して、生徒の豊かな心を育成								
事業内容	全公立中学校2年生等が、団体、企業等の協力を得て、地域社会の中で1週間、様々な体験活動を行う。補助対象者 市町 補助対象経費 活動運営経費等の「トライやる・ウィーク」推進事業に係る経費 補助率 県1/2、市町1/2		事業開始年度	平成10年度					
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額		平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額			
	事業費	(211,193 千円) 211,193 千円		(208,243 千円) 208,243 千円		(204,321 千円) 204,321 千円			
	人件費	1,694 千円	従事人員 0.2人	1,672 千円	従事人員 0.2人	1,641 千円	従事人員 0.2人		
	総コスト (+)	212,887 千円	従事人員 0.2人	209,915 千円	従事人員 0.2人	205,962 千円	従事人員 0.2人		
事業の目標	全公立中学校2年生が、1週間の社会体験活動を実施			[目標設定理由] 生徒の「生きる力」の育成を図るため、全公立中学校で実施					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率(%)		
		目標値	年度				H20	H21	H22
	実施校数	全校実施	毎年度	371校 (574 千円)	369校 (569 千円)	369校 (559 千円)	100%	100%	100%
評価結果	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領において、中学校における職業体験の重要性が示されている。 ・地域の教育力の低下や子どもの自然体験、社会体験の不足が指摘されている。 ・学校、家庭、地域社会が連携し、地域での職場体験等の機会を提供する必要がある。 ・兵庫型体験教育の一環として、充実が求められている。 							
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・全公立中学校で実施することで、生徒の「生きる力」につながっており、有効な事業である。 ・体験後の生活への積極的な姿勢というプラス作用や勤労観・職業観の育成、社会との接点を意識するなど大きな成果をあげている。（「トライやる・ウィーク検証委員会」による報告） ・家庭では活動に向けての会話だけでなく進路や将来についての会話に発展し、地域にあっては、生徒への理解が進んでいる。 							
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・県と市町の負担率について、20年度に見直しを行った。 ・生徒が自ら広報紙や幟（のぼり）を作るなど執行上の工夫を行い、経費の効率化を図っている。 ・体験活動時期について、地域と一体になって行う事業のため、市町単位等で6月または11月に集中的に実施し、地域への広報等に係る事務の効率化を図っている。 							
	民間・市町との役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主体は市町であるが、県下の全公立中学校で円滑に実施するために、県が経費の一部を負担する。 ・事業創設10年を経過した平成20年度に、市町における定着状況や事業の効果等を踏まえ、県と市町の負担率を県2/3：市1/3から県1/2：市1/2へ変更した。 							
	受益と負担の適正化	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育事業の一環として実施するものであり、個人負担を求めない。 							
実施方針	方向性	新規	拡充	継続		実施手法の見直し			
		廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定		
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他	
説明	より効果的な事業内容・執行方法について、引き続き検討の上実施								